

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立瀬戸南高等学校	
実践者等		歳森 郁夫	実践日 令和4年10月
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		逆オンライン授業 理科 通常授業	
対象生徒(学年等)		全学科 全学年	
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化 ☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用 ☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化 ☒ その他 (遠隔授業、確実な学習活動)	
		家庭学習	
		☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着	
実践の内容			
(1) 逆オンライン授業 本校職員が濃厚接触者となり自宅待機となったとき、Microsoft Teams を利用して自宅から教室へ授業を配信した。 教室には機器をセッティング・操作する教員が必要であるが、生徒は当該教科担当から教室で授業を受けることができるため、進度や授業の進め方が変わることなく授業に取り組むことができた。 また、1年生は一人一台端末により教室前方のスクリーンのみならず自分の目の前で資料やプリント、動画やパワーポイントなどを確認できるため、より授業に取り組みやすくなると考えられる。   (2) 通常授業 上記(1)と同じく、1年生の授業で Microsoft Teams を利用して資料や動画等を配信することで、手元で正確に板書を写したり画像や動画の細部まで見たりすることができる。 また、Classi のポートフォリオやコンテンツボックス、アンケート機能を使い、授業の振り返りや記録を残すようにしている。 【本時と家庭学習との連動】 コンテンツボックスに授業の動画や板書の写真をアップロードすることで、欠席者や振り返りをしたい生徒が活用することができる。			

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)